

第8回

鼻の日セミナー

あなたの鼻は健康ですか？

「鼻の日」(8月7日)にちなんだ第8回鼻の日セミナー「あなたの鼻は健康ですか？」が5日、大阪市北区の毎日新聞オーバルホールであった。専門医3人が鼻の仕組みや鼻の疾患の最新治療法などについて講演。その後、事前に寄せられた質問をもとに、パネルディスカッションが行われ、約400人の参加者が熱心に聴き入った。【大道寺峰子】

開演あいさつ 大阪府耳鼻咽喉科医会 川崎良明会長

大阪府内には約1000人の耳鼻咽喉科医があり、そのほとんどが日本耳鼻咽喉科学会大阪府地方部会に所属しています。大阪府耳鼻咽喉科医会には開業医を中心に約730人が在籍し、両輪として地域医療に携わっています。また大阪市西区の中央急病診療所では365日、急患に対応。全国に誇れる事業として取り組みを続けています。本日は鼻の仕組みや病気への理解を深め、明日からの生活に役立てていただければと思います。



大阪府耳鼻咽喉科医会理事 松田泰明さん



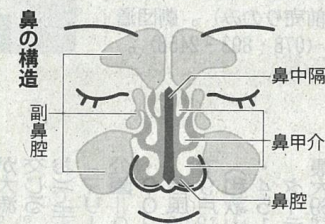
まつだ・やすあき 大阪市立大学院医学研究科修了、大阪市立総合医療センター耳鼻咽喉科・小児耳鼻咽喉科を経て、1996年から松田耳鼻咽喉科院長。

鼻の構造とはたらき

人の鼻は、顔面に突き出た外鼻と、その内側の鼻腔、さらに周辺の空間の副鼻腔の大きく三つに分かれます。鼻の働きで大事なのは呼吸で、外気を気管に送り込むための重要な役割を担っています。

まず外気の異物などを取り除くフィルターの役目です。鼻毛といわれる無数の毛で覆われ、凸凹に凹凸の表面積が広

空気清浄と加湿呼吸の要



に並んでいます。その粘膜は線毛といわれる無数の毛で覆われ、凸凹に凹凸の表面積が広

まり、鼻は加湿機能付きの空気清浄機といえるでしょう。鼻腔で取り除かれた異物は、鼻水とともにのどに押し流されます。鼻水は1日1リットル出るといわれます。本来、鼻水は異物を洗い流すため、くしゃみは異物を吹き飛ばすため、鼻づまりは異物がこれ以上入らないようにするための

以上の粒子を吸着します。また鼻粘膜は非常に血流が豊富で、温度を一定に保つことができます。そして、どんな外気も32度湿度98%くらいにして肺に送っています。つまり、鼻は加湿機能付きの空気清浄機といえるでしょう。鼻腔で取り除かれた異物は、鼻水とともにのどに押し流されます。鼻水は1日1リットル出るといわれます。本来、鼻水は異物を洗い流すため、くしゃみは異物を吹き飛ばすため、鼻づまりは異物がこれ以上入らないようにするための

主催 一般社団法人大阪府耳鼻咽喉科医会、一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会大阪府地方部会、毎日新聞社
後援 大阪府、大阪市、大阪府医師会
提供 グラクソ・スミスクライン、大正富山医薬品、田辺三菱製薬、Meiji Seika ファルマ

近畿大学医学部耳鼻咽喉科教授 土井勝美さん



アレルギー性鼻炎の有病率は約40%で、国民病といわれます。仕事の効率や記憶力の低下など、患者の約6割が日常生活に支障を感じています。一年中症状が出る場合は通年性です。スギ、ヒノキ、カモガヤ、フタクサなどの花粉が飛んでいる時に症状が出るのが花粉症で、季節で症状が出るので季節性と呼びます。

アレルギー性鼻炎の診断と治療

アレルギー性鼻炎の原因となる物質(抗原)に対し、鼻の粘膜の免疫をつかさどる細胞が反応することで、くしゃみ、鼻水、鼻づまりの症状が出ます。抗原は何か、問診や血液検査などで診断します。通年性の代表的な抗原はダニ、ハウス

コトリエン薬を処方します。外用薬として鼻の中に噴霧するステロイドがあります。抗ヒスタミン薬の中でも最近では2世代というタイプが広く使われます。第1世代に比べ有効性が高く、眠気、だるさなど副作用は少なくなります。

割前後の患者で非常に有効で長期寛解が期待できます。治らない場合は手術で症状の出現に関与する神経や、炎症を起こした鼻腔内の粘膜や血管を取り除きます。かかりつけ医とも相談し、ご自分に合う選択をしてください。

コーディネーター 元毎日新聞論説委員 池田知隆さん



う一つ血管運動性鼻炎がある。これは温度変化などへの自律神経の反応。加齢に伴い加温・加湿の微調整

がうまくいなくなるのが一つの要因だ。特段の治療法はないが、アレルギー性鼻炎と同様に抗ヒスタミン薬などが有効なことがある。鼻づまりがひどく、耳までおかしくなることもある。鼻づまりの原因にもよる

大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師 乾崇樹さん



副鼻腔炎は急性と慢性に大きく分けられ、急性は風邪などウイルス感染の後に起こります。ねばっとしたり、色がついたたりした鼻水が出ます。抗生物質の投与とともに鼻水をしっかりと出すことが大事です。自分でかむだけではすきりしないこともあるので、耳鼻科を受診しての処置で吸い出してもらってください。慢性の副鼻腔炎としては細

いろいろな副鼻腔炎 特徴と診断、治療

菌感染による「くちくち」が昔から知られています。鼻づまり、鼻水、嗅覚障害、頭痛などの症状があります。副鼻腔は前頭洞、篩骨蜂巣、上顎洞、蝶形骨洞の四つがあり、鼻腔に

副鼻腔からの分泌物のせいで鼻が詰まるため、いつまでも治らず慢性化します。治療はマクロライド系という抗生物質を中心に、治りが悪い場合は内視鏡手術をしま

わかってはいますが、原因は不明です。鼻だけが鼻の両側にあるケースやぜんそくの場合が多いことなどが特徴です。治療は主に内視鏡手術で副鼻腔の壁を取り「単洞化」させるほか、抗ロイコトリエン薬の内服とステロイドの鼻噴霧剤を使います。また、この病気が再発が多く、長期的な

近年増加 難治性のタイプ

は鉛筆の芯ぐらいの太さの交通路でつながっています。そこが炎症で腫れて狭くなり、

す。出口付近の骨を削り広げ、中を掃除します。手術後に薬とセットで治療することで、治療成績が上がっています。一方、2000年ぐらいから、好酸球性副鼻腔炎が増え

対応が重要です。手術により広がった鼻内にはステロイドなどの薬が行き渡りやすく、さらに洗浄措置で鼻の中をきれいに保つことができます。最後に、一側性副鼻腔病変は歯や真菌症(かび)であり、ものなどが原因のことがあり、

リスク高くない副鼻腔炎手術／鼻の症状 耳にも影響

Q アレルギー性鼻炎で、夜間就寝中にも3、4回鼻にスプレーをしないと寝られない。
松田 血管収縮剤を含んだ点鼻薬と推測されるが、使い過ぎるとかえって鼻が詰まる薬剤性鼻炎になることがある。抗ヒスタミン薬などに

CTで状況を確認しながら行う。出血が多い可能性はあるが、輸血は通常不要。骨を削る手術のため、成長過程の子供には原則行わない。
Q 温度変化でくしゃみが出る。
乾 非感染性鼻炎に分類されるものにアレルギー性鼻炎があるが、も

がうまくいなくなるのが一つの要因だ。特段の治療法はないが、アレルギー性鼻炎と同様に抗ヒスタミン薬などが有効なことがある。鼻づまりがひどく、耳までおかしくなることもある。鼻づまりの原因にもよる

パネルディスカッション

Q 舌下免疫治療を検討中だが、複数のアレルギーがある場合は。
土井 適応はスギ花粉症とダニによる通年性アレルギー性鼻炎だが、両方同時に治療するのは認められていない。ただ、どちらかの治療をすることで、もう片方の鼻炎症状が軽快したとの報告があり、どちらかの治療を行うのも選択肢の一つだ。

えた方がいいかもしれない。アレルギーの抗原は何か、また副鼻腔炎などの可能性もあるので、病院で改めて確認してほしい。
Q 副鼻腔炎の手術のリスクは。
乾 全身麻酔か局所麻酔かなど施設によって多少やり方が異なるが、全国に普及しており、一般にリスクは高くはない。目や脳が近いので、

Q アレルギー性鼻炎で、夜間就寝中にも3、4回鼻にスプレーをしないと寝られない。
松田 血管収縮剤を含んだ点鼻薬と推測されるが、使い過ぎるとかえって鼻が詰まる薬剤性鼻炎になることがある。抗ヒスタミン薬などに